学校番号	3002

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版高等学校言語文化」　（数研出版）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア五訂版　（尚文出版） プレミアムカラー国語便覧デジタル版（数研出版） ウォーミングアップ高校国語　国語小町　基礎編						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・代表的な古文、漢文の作品、近代以降の小説などを学習して言語文化に対する理解を深めます。
・この授業では課題に対して、自ら考え、周りの人と協力しながら学びを深める活動を行います。
・話す・聞く・書く・読むことで、意思を伝え合うコミュニケーション能力を高めましょう。
・古文と漢文の名作・近代以降の名作に親しみながら、日本人が代々培い伝えてきた心・価値観を再認識し、未来に生かす「温故知新」の意識を持って学びを深めましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。読まずに国語の力が付くことは絶対にありません。
・やむを得ず欠席した時は、すみやかに遅れを取り戻すようにしましょう。
・提出物の期限を守り、小テストは満点が取れるよう全力で臨みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	高校国語を学ぶにあたっての基礎力を修得する ［教材］『ウォーミングアップ高校国語　国語小町　基礎編』	a：常用漢字を的確に読み、書くことができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて内容や構成、展開などについて的確に捉えている。 c：最後まであきらめず全ての問題に対して粘り強く取り組んでいる。	ワークシート 定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査
	歴史的仮名遣いに慣れ、言語文化の継承や発展について理解を深める ［教材］「児のそら寝」「なよ竹のかぐや姫」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで文語の活用について理解し，学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査	ノート 振り返りシート 小テスト
	作品と自身を関係づけながら、ものの見方や感じ方を深め、言語化する手法を修得する ［教材］『枕草子』	a：平安時代の女流文学および随筆文学について正しく理解する。 b[読]：・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，学習課題に沿って，「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え，古今意義語について考えようとしている。	定期考査	定期考査	ノート 振り返りシート 小テスト
	登場人物の行動や心理をもとに場面の展開や論拠を理解する。 ［教材］『羅生門』	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。[b[書]：下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述している。 c：内容の解釈を踏まえて粘り強く下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	定期考査	定期考査	ノート 振り返りシート 小テスト
二学期	歌物語に描かれている内容を叙述を基に的確にとらえる ［教材］『伊勢物語』	a：古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価している。 c：進んで歌物語の特徴や表現の仕方，古典を元にした絵画・工芸について理解し，学習課題に沿って，各章段に描かれた内容を的確に捉えたり，和歌を書き換えたり，文章の内容を捉え直したりしようとしている。	ワークシート 定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査
	初歩的な漢文、特に故事成語の元になった漢文を読解することで、漢文訓読の初歩を身につけ、漢文に慣れ親しむ。	a：我が国の言語文化の形成に重大な影響を与えた漢文の性質について理解する。	定期考査	定期考査	ノート 振り返りシート

	［教材］『戦国策』『韓非子』等。	b[読]:「読むこと」において，作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めている。 c:進んで訓読のきまりを理解し，学習課題に沿って，故事成語の元になった話を読み，故事成語の果たす役割について考えようとしている。			小テスト
三学期	随筆に表れた作者の考えを的確にとらえる ［教材］『徒然草』	a:古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[書]:「書くこと」において，作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，自らの言葉でまとめることができる。 c進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し，学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。	ワークシート 定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査
	それぞれの歌について、題材のとり方、展開の仕方などの特徴をとらえ、比べる。印象に残った歌を選んで、鑑賞文を二百字程度で書く。 ［教材］近現代短歌	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b:「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c:学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	ノート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　15　）時間

・読むこと　…　（　90　）時間